

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年1月5日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102654		
法人名	有限会社 トゥルーケアステージ		
事業所名	グループホーム ばなな	ユニット名	1丁目
所在地	〒311-4153 茨城県水戸市河和田町4433-40		
自己評価作成日	平成21年8月1日	評価結果 市町村受理日	平成21年12月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年9月16日	評価確定日	平成21年12月17日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>入居者様一人一人が安心して生活を過ごせるよう配慮させて頂いております。 また、ばななでは3つの理念として、一人一人の尊厳を最大限大切にすること、身体的、精神的拘束が無い様に努力していく事、地域との関わりを大切にし、日々交流を深められる様に努力していくこと、の3点を挙げています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対し、家庭的な環境のもとで日常生活の介助を通して安心と尊厳のある生活を営むことを支援すると契約書に明記しており、管理者と全職員は利用者の権利を尊重し、礼節と尊敬をもって介護をしている。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念については昨年変更を行い、分かりやすく利用者の尊厳、拘束廃止、地域との関わりについて3点の理念を挙げている。	利用者の尊厳を大切に身体的、精神的に自由な生活と、地域との関わりや交流のある介護を理念とし、管理者と職員で共有し支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアセンターに来て頂いたり、協力事業所同士の新聞を作成し配布している。しかし地域一般の方々との関わりはまだ少ない為、今後の課題として考えていきたい。	地域の清掃活動やペットボトルや缶など地域のリサイクル活動に職員が参加している。 ハーモニカ演奏のボランティアを受け入れ、利用者もリズムを取ったり身体を動かし楽しみながら利用者参加のコンサートを開催している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通し、認知症についての説明を行うこともある。地域の人々においては近所に住まわれている方、関わりのある所には協力してもらうことがあったり、理解して頂いている所もあると感じているが、全体的にはまだまだ足りない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で事業所でのサービスの状況や結果などの説明を行っている。会議の場では、地域の方々との関わりを増やすこと、高齢者の方々に参加出来たら楽しんでもらえるのではないかという話が出る事が多い為、実際に検討させて頂いている。	運営推進会議は町内会会長や副会長、市職員、事業所統括管理者で2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所からの報告や市からの連絡、事業所の課題について意見交換をするとともに、意見等を運営に活かしている。	地域の民生委員や老人会の役員、近隣住民、家族等に運営推進会議への参加を働きかけ、事業所の実状を理解してもらい、問題解決に向けて協力を依頼できる関係の構築を期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営で不明な点があった場合や、定期的に訪問し、相談、助言を頂きながら取り組んでいる。協力しながら問題解決することもあり、関係は築けていると思われる。	市介護保険課に事業所の課題を相談したり、生活保護に関して問い合わせをしている。 介護相談員を受け入れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	理念にも拘束は廃止と理念を挙げている。会議の場や対応が困難なケースにおいてもその都度対応方法について話し合いを行い、拘束をすることなく対応出来る様努めている。	職員は身体拘束の弊害を理解している。 玄関前の道路は車の往来が多いが、センサーを取り付け安全に配慮することで玄関の施錠はしていない。 外出願望や帰宅願望で玄関を出る利用者には職員が付き添い、身体拘束をしない支援を実践している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待を含め、精神的な虐待についても行われない様に注意をしている。入居者の方及び家族からの話から可能性が感じられた場合、必ず確認をするようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて制度の確認を行い、ご家族様や関係者の方々に、説明する機会を設け対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書は2部作成し、共に内容を確認しながら一つ一つ説明を行っている。また、疑問点などについても項目毎に確認し内容をしっかり理解して頂き納得して頂けるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>変更面がある時には一人一人のご家族に説明させて頂いたり、ホームに来られた際にも日頃の状況の報告や家族の意見を求めるようにしている。又、気軽に相談できる環境を作っている。</p>	<p>職員は家族等の面会時に利用者の近況を報告し、意見や要望を聞くほか、家族会で話し合う機会をつくり苦情や要望を汲みあげるとともに、出た意見等を運営に活かしている。重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明記している。エレベーター前に意見箱を設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>事業所の管理者や、時には本社の人間が事業所へ訪問し、職員の意見を聞く機会や説明を行う機会を設けている。</p>	<p>職員は運営に関して上司と話す機会が日常的にあり、思い付いた時に話せる関係ができています。代表者は職員の意見を運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>就業する職員の業務内容や努力面を個別に評価し、給与や業務内容に反映させている。</p>		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に一度の管理者研修や、毎月事業所全体で勉強会を行っている。また、専門の業者に依頼し、必要と思われる研修をそのつど開催している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者同士の情報交換にグループホーム協議会があり、開催される際には管理者の参加を促すが、職員一人一人までは機会を設けられているとは言えない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用の前に、本人とご家族と面会し、現状困っている事や、今後の不安等を確認し、安心してサービス利用が行えるよう事業所として心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用の前に、本人とご家族と面会し、現状困っている事や、今後の不安等を確認し、安心してサービス利用が行えるよう事業所として心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実態調査に訪問した職員からの視点から検討するものと、実際に本人や家族が必要としている事を確認し、サービス提供に反映できるよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個別個別で生活を営むのではなく、共に生活している方々との交流機会を持ち、安心出来る生活を支援している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との関わりが増えるようにと6月に家族会を行い、各家族にも手紙を郵送している。少しずつではあるが、家族の訪問や病院受診の付添いが増えてきている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙や電話で以前の知り合いに連絡する方もいるが最近は少なくなってきたように感じられる。それでも、知人がホームに面会に来られることもあり、事業所としても出来る限りそういう機会が持てるようにと考えている。	職員は利用者の生活歴を把握し支援している。 近くのスーパーでゲームをしたり、知人へ手紙を出したり電話をするなど、馴染みの人や場所との関係が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、関わり合いが多くなるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、ご家族やご本人様にはできる限りの協力を行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	事業所の理念にも挙げているが、本人本位を第一に考えてサービスを提供している。また、一人一人の生活が豊かになるよう個別ケアの強化をし、安心した生活が送れる様サービス提供している。	一日の中でも思いは変化するので、職員は利用者の思いを汲み取るよう声をかけるなど、思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用前や、日頃の本人との関わりから、今までの社会歴を尊重し、継続できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人ご本人のペースにて自由に生活して頂いている。また、それぞれの有する力を把握し、ご本人が望むのであれば、自分の役割を持って頂けるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の更新や本人に変化があった場合事にチームカンファレンスを開催し、目標を立てた介護計画を作成している。	利用者や家族等、職員、医療関係者で話し合い介護計画を作成している。 職員の気付きや意見を取り入れ、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別毎に記録は記載されており、必要があればノートを活用し職員間で情報を共有できるように努め、サービスの検討をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その日その日の本人の状況や体調によって、その時の本人に合ったサービスを提供できるように支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	多くが家族の協力を得ながらの支援だと感じられるが、地域の方々の協力を得て、より豊かな生活が営めるよう支援していきたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院がかかりつけ医になることが多いが、本人やご家族に要望も取り入れ、かかりつけ医は選んで頂いている。	月2回協力医療機関の往診があり、適切な医療が受けられるよう支援している。 利用者や家族等の希望にそって利用前からのかかりつけ医との関係を大切にしている。 かかりつけ医への受診は家族等が付き添っているが、できない場合は職員が付き添い支援をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護と24時間体制の連携を結んでおり、定期的にホームへ訪問に来て頂いている。その他にも、困ったことや心配なことがあればそのつど連絡をとり情報の共有を行っている。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院していても、本人の情報交換をマメに行っている。また、本人が不安にならない様定期的に面会に訪問し、状況確認等をおこなっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化に向けての指針があり、家族にも説明を行っている。設備面からすると難しい面が多いが、主治医、訪問看護、家族の協力を得ながら取り組んでいく必要がある。	重度化対応マニュアルを作成して 医療と連携を図り可能な限り住み慣れたホームで尊厳あるターミナルケアができるよう関係者で取り組む方針である。	利用者の終末期について関係者で話し合い、納得した最期が迎えられよう取り組むことを期待する。 医療関係者と連携を図るとともに、家族等と状況の変化に合わせて方針を話し合い、段階ごとに意思確認書を作成し確認を得ることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時や急変時のマニュアルが各ユニットに置いてあるが、定期的な勉強会は行えていない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急時の避難経路の周知や、地域の方との緊急連絡網を作成し、非常時の体制を強化している。	年2回避難訓練を実施するとともに、1回は消防署指導のもとに実施している。 消防署の指導により避難確認のため各居室に目印のマグネットを取り付け、避難済みを確認後マグネットを外す工夫をしている。 災害に備えて食糧や飲料水を事業所本部に備蓄するほか緊急連絡網を作成している。	3階建てで緊急時にエレベーターを使用せず避難誘導するには不安が多いため、地域住民の協力が得られるよう運営推進会議で話し合うほか、日々交流し協力体制を築くことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の尊厳を最大限に尊重していきけるように理念に取り入れている。また、プライバシーについても最大限の配慮をしながらケアをしていくよう指導している。	職員は利用者一人ひとりを人生の先輩と思い、押し付けでない介護を心がけている。 下着の交換時にはバスタオルで覆うなど、プライバシーに配慮したケアを実践している。 重要事項説明書に個人情報使用に関する同意欄をもうけている。 個人情報の書類は決められた場所で適切に管理、保管されている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員のペースや決定で日常生活が送られるのではなく、入居者自身の訴えや希望を大切にしよう指導している。	/		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活のペースを大切に、最大限配慮するように努めている。また、その日の突然の希望についても、出来る限り対応出来るよう考え、努力している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧品などを使用している方もおり、身だしなみはしっかりして頂けるよう支援している。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居生活を続ける中、要介護度も上がってきており、以前の様に共に食事作りを行う機会は減っている。味見やできることを共にいき、食事を楽しめるように支援していく努力を行っていきたい。	食材は配達業者を利用し、朝食はユニット毎に用意するとともに昼食や夕食は調理専門職員が作っている。 麺類が嫌いな利用者には代替食を用意したり、希望にそって朝食のパンを御飯にするなど、好みに合わせて提供している。 配膳や後片付けなど利用者ができることは職員と一緒にするほか、食事と一緒に楽しんでいる。 食事会や外出に出かける楽しみもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は専門業者に委託しており、栄養面や季節の献立は作れている。また、嗜好や制限食のある方については、栄養士に指導をもらい提供をしたり、摂取量が少ない方には、好みの物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを今よりも強化していきたい。味覚や咀嚼にも影響が出るため、食事を楽しんで頂く為にもより努力が必要である。また、義歯を使用している方には、毎日洗浄剤を使用して衛生面を配慮している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の量やペースを記録しており、適切な時間の声掛けや、本人の失敗が少なくなるよう配慮している。	排泄記録ノートを活用して排泄のタイミングを見計らい、さりげなくトイレ誘導をしている。 職員はトイレでの排泄が大切なことを理解し、紙パンツやパットも使用しながら排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、運動に注意を払い対応している。また、主治医や訪問看護に報告、相談している。1日の水分摂取量が取れるよう支援し、ヨーグルトも摂取して頂けるよう声かけしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	時間などは指定せず、本人の入りたい時に好きに入浴できる環境を提供している。夕方は入りたいという方がいれば、ミーティングを行い対応できるように支援している。	入浴は時間帯を決めず利用者の希望にそって楽しめるよう支援している。 入浴拒否の利用者は無理強いせず、タイミングを見計らって誘導している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人が安心して休める環境を心掛けています。時に不安になる方もいるがゆっくりと話を傾聴し、対応している。また、室温調整に気を配り、定期的に見回りを行なっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に対して医師の指示通りに提供できる2名体制で確認し、服薬の手伝いを行っている。また、体調変化から気づける様副作用についても確認するようにしている。一人一人の服用している薬の目的が分かるように表にしてあり、服薬確認を行なう表を利用している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	以前までは全体レクを主に提供していたが、一人一人の個性に合わせてレクを提供できるように個別の対応を強化している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	支援しているとは言えない。希望に沿ってもっと外出対応が行なえるよう努めて行きたい。	ラジオ用の電池や下着、衣類、化粧品など利用者の希望があれば職員が付き添って買物に出かけている。家族等と利用者が一緒に外出するなどストレス軽減の支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭についてはホームの金庫で管理し、必要時に使用できるよう対応している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホームとしては、本人が自由に行える様支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ努力をしているが、季節感がずれていることもある。また、廊下の電気設備などは直接照明になっており、障害となっている可能性も考えられる。季節感が感じられるようにと花を飾ったりしている。	ユニットごとに利用者が作った折り紙や塗り絵を飾るほか、職員が自宅で育てた草花を飾るなど家庭的な場所となっている。 廊下の大きな窓際に椅子を設置し、利用者は自由に過ごしている。 窓からは畑や田んぼが眺められ、季節を感じるができる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内はユニット問わず、本人の自由として使用して頂いている。出来る限り他ユニットとの関わりが持てるよう支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	火気については相談させて頂いてるが、その他は持ち込みなどは歓迎している。できるだけ使い慣れたものを持ち込みして頂けるよう促している。	居室は家族等と相談し、自宅で使い慣れた物品を持ち込んでもらったり掛軸を飾るなど、その人らしい部屋で居心地よく暮らせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	リスクを考えた上で出来る限り環境面には配慮させて頂いている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに 4, ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない 4, 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p>1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	<p>1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない</p>



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームばなな

作成日 平成21年12月24日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
3	4	運営推進会議は定期的開催できているが、民生委員や老人会の役員、地域住民の参加が無い。	地域の方々により会議に参加してもらえ環境を作り地域の方々と考え成長していきたい。	地域の老人会や近隣への参加の働きかけをおこない、商店の方々とも交流を作り参加を促していく。	3ヶ月
2	33	終末期の対応について、段階ごとの意思確認書や、状況毎のマニュアルを作成していく必要がある。	グループホームにおいて、入居者、家族、職員が安心して終末期の対応ができる環境が作れる。	マニュアルの見直し及び、必要書類の作成を行ない、定期的に勉強会を行なっていく。	6ヶ月
1	35	災害時の避難について、職員だけの対応では不安がある。地域との協力も必要と考えられる。	災害時、地域の方々との協力を得て、安全な対応が行なえる。	日頃の地域とのやりとりや、運営推進会議を通して、災害対応について準備をして行く。避難訓練等の地域の参加を促していく。	3ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。